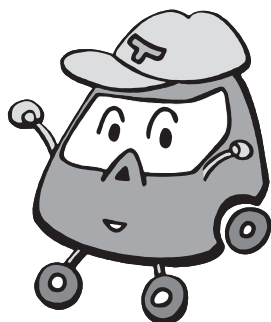


兵ト協ニュース

2013.1 No. **318**
.....



兵庫県トラック総合会館



もくじ

○ 年頭のご挨拶	2
○ 行政からのお知らせ	
(国土交通) 国道43号・阪神高速3号神戸線沿道の大気環境改善のための 協力について (お願い)	11
(経済産業) 下請取引の適正化について	12
○ 神戸市建設局からのお知らせ	
大型車 (特殊車両) の国道428号の通行について (お願い)	14
○ (全ト協) 「冬用タイヤの装着およびチェーンの携行・装着」について	15
○ 事務局からのお知らせ	
「原価意識向上のための基礎セミナー」のご案内	16
運行管理者試験事前講習会開催のご案内	18
○ 自動車事故対策機構からのお知らせ	
平成24年度第2回 NASVA 安全マネジメント支援ツール講習会のご案内	20
平成24年度第2回 NASVA 安全マネジメント講習会 (基礎編) のご案内	22
○ 関西交通経済研究センターからのお知らせ	
シンポジウム2013	
「安マネ制度導入から6年が経過 “いまどう動くか?”」開催のご案内	24
○ 陸災防のページ	
はい作業主任者技能講習会のご案内	26
フォークリフト運転技能講習会のご案内	29
○ 平成24年全ト協十大ニュース	34
○ 会員だより	35
○ 協会日誌	36

謹 賀 新 年

新春を迎え ますますのご発展とご多幸を心からお祈り申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます

—— 平成二十五年元旦 ——



社団法人 兵庫県トラック協会

会 長	福 松	永 原	征 丈	秀 夫
副 会 長	出 亀	雲 田	昌	武 廣
〃	北 坂	野 尾	洋 武	穰 南
〃	森 太	川 田	啓 喜	夫 三
〃	萩 役	野 職	一	平 同
専 務 理 事				
常 務 理 事				



年 頭 の ご 挨拶

社団法人 兵庫県トラック協会
会 長 福 永 征 秀

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員事業者の皆様はじめ関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年我が国の経済は、イタリアやスペイン等、ユーロ圏での金融不安が解決されない中、アジア経済の減速、中でも中国やインドの経済成長の鈍化や、中国における日本製品の不買等による輸出の減少、さらには、電力不足が不安視される中、国内企業の生産活動の縮減等が相俟って、我が国内の経済活動は停滞し、先の見えない一年でありました。

私どもトラック運送業界におきましても、2008年のリーマンショック以降、急激な円高による国内企業の海外シフト等による輸送需要の減少、運賃・料金下落、軽油を始めとする燃料の高止まりが続くなど、経営環境が悪化する中で、「安全対策」や「環境対策」などに係るコスト負担の増加などにより、非常に厳しい経営環境に置かれ続けており、多くの事業者が疲弊し、業界全体が深刻な経営危機に直面しています。

昨年末に行われた総選挙では、自由民主党が民主党に代わり政権につくこととなりました。自由民主党に対しては、過去の轍を踏まず、新たな視点で我が国経済の立て直しをされるものと期待しておりますが、私どもは、トラック運送業界の危機的状況を打破し、経営環境の改善を図っていくために、新政権に対して、力強い景気・経済対策の推進を求め、中小企業対策を強く要請していかなければなりません。

また、兵庫県に対しては、一昨年に法制化された運輸事業振興助成交付金の全額交付について、強く要請していかなければなりません。

さらに、昨年10月に「トラック産業の将来ビジョンに関する検討会」に基づくワーキンググループでの検討が取りまとめられました。今後、新たな作業部会が設置され、このワーキンググループ提言事項や必要な対策を推進されると聞いていますが、私どもとしましては、市場構造の健全化に向けて、新たな作業部会において実効ある提言がなされ、国において確実に実行されるよう、

今後も声を大にして働きかけていく必要があると考えています。

このような状況の中においても、私どもトラック運送事業者としましては、我が国の産業活動や国民の暮らしを支える国内物流に不可欠な公的基幹産業であることを自覚し、社会と共生し、その役割を果たしていくことを最重点課題として、適正運賃収受の実現に向けた取り組みや、荷主や消費者から信頼される業界づくりのための運輸安全マネジメントの導入促進などの『適正化事業の推進』、営業用トラックが第一当事者となる交通事故の減少を目指した「トラック事業における総合安全プラン2009」に基づく諸対策の推進、A S V 関連機器の導入促進などの『交通安全対策』、地球環境への負荷の削減を図るため、低公害車両の導入支援やトラック運送事業者のグリーン経営認証への取り組み促進などの『環境対策』に更に取り組んで参ります。

以上、私ども兵庫県トラック協会としましては、現在、トラック運送業界が抱える多くの課題に着実に取り組み、将来にわたるトラック運送業界の発展のための課題を一つずつ確実に解決して参りたいと存じます。

そのためには、私どもが英知を結集し、一致団結することは勿論、政治的な働きかけも視座に据えて、課題の解決に向けた行動を起こして参りたいと考えています。

本年は「巳年＝蛇」。蛇は脱皮するということで、復活、再生を連想させるものでありますが、当協会では、一昨年来建設を進めて参りました「兵庫県トラック総合会館」が早々に竣工します。また、本年11月には新法人への移行期限を迎えることとなり、新たな気持ちで、懸案事項の解決に邁進してまいります。

つきましては、会員の皆様をはじめ、関係各位の一層のご支援、ご指導とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆々様のご健康、ご多幸を心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。





平成25年 年 頭 所 感

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 星 野 良 三

全国の会員事業者の皆様をはじめ関係各位には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成25年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

全日本トラック協会は、昨年4月に公益社団法人として新たなスタートを切りました。これは、全日本トラック協会が、公共性の高いトラック輸送産業の健全な発展と公共福祉への寄与などを事業の目的としていることや、安全、環境をはじめとした事業運営が認められたものと自負しております。今後も公益社団法人としての社会的使命を果たすべく、安定的な輸送力の確保と安全・安心で質の高い輸送サービスの提供に努め、積極的に事業を展開してまいります。

また、9月には、東日本大震災時にトラックが機動力をいかんなく発揮し、大量の緊急支援物資を被災地に輸送したことにより、地域住民の生活安定に多大な貢献をしたとして、「平成24年度防災功労者内閣総理大臣賞」をいただきました。さらに、全ト協及び全国のトラック協会の震災への取組が、IRU（国際道路輸送連盟）の最高位とされる「IRUグランプリ賞」に選定されました。これは、我々トラック運送業界が政府、国民はもとより、IRU加盟の世界各国からも高い評価を得た証しであり、大いに誇りとすべきものであります。

11月には、大規模災害を見据え、「全日本トラック総合会館（全日本トラック防災・研修センター）」の建設に着手しました。同会館は、地下1階、地上11階建てで各種研修室に加え、免震構造で非常用発電装置なども備えております。平成26年3月に竣工し、有事の際には全国の緊急物資輸送の中央司令塔としての機能を担ってまいります。

さて、我が国の経済を振り返りますと、東日本大震災の復興需要による公共投資、エコカー補助による自動車販売の回復など内需による下支えが期待されましたが、円高や欧州金融危機問題、更には中国経済の減速に加えて、領土問題による韓国、中国との摩擦により貿易も落ち込み、夏以降低迷を余儀なくされました。また、輸送需要も低迷を続け、運賃が低下する一方で燃料価格の高止まりや軽油引取税等の過重な負担がのし掛かり、中小企業が99%を占めるトラック運送業界では、多くの事業者が事業存廃の岐路に立たされています。

このような中、物流の基幹産業でありますトラック運送事業の社会的な使命を果たすため、具体的には規制の再評価と必要な見直しの促進、ドライブレコーダの普及拡大を図るとともに、原価意識向上のためのセミナーの開催及び事故防止、環境対策、少子高齢化に対応した労働力の確保並びに有事に備えた緊急輸送体制の確立を図るなど、時代の要請とも言うべき諸課題に果敢に取り組んでまいりました。

特にコスト負担増となった軽油価格高騰に対しては、5月に開催した「燃料価格高騰による経営危機突破全国統一行動」で、全国のトラック協会等が一丸となり、2万人規模で総決起大会、請願活動、街頭行進等の実施により、政府、国民に業界の窮状を広く訴えたところです。この結果、国土交通省では燃料サーチャージ制の導入促進のため、日本経済団体連合会および日本商工会議所をはじめ地方の荷主団体に対して協力要請を行っていただく一方、「トラック運送業における燃料サーチャージ制緊急ガイドライン」の改訂と、導入促進のセミナーをトラック協会との共催により、全国各地で開催していただきました。

「安全」対策については、常に最重要課題として位置付け、各種施策を強力に推進しています。昨年は、事業用トラックが第一当事者となる死亡事故件数が一昨年を上回ったため、「平成24年・下期事故防止緊急特別対策」を実施し、トラック追突事故防止マニュアルを活用したセミナーの開催や、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダ等安全対策機器の普及促進に努めたほか、新たに「WEB版ヒヤリハット集」を制作し、ホームページに公開するなど緊急対策に取り組んでいます。

貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク制度）については、制度導入10年目となる昨年末現在で認定事業所数は、1万8119事業所に達し、安全性に優れた事業所として、荷主企業等から高い信頼を得ています。今後は、認定2万事業所を目指し、業界内に対しては申請事業所数の増加、また、対外的にはGマークの認知度アップのための方策を推進するなど、Gマーク制度によりトラック運送業界全体の安全性の底上げを図ってまいります。

また、労働災害については、7割が荷役作業時に発生し、特に自社以外の構内作業中に多発しているため、荷主等に対する協力を求めるなど対策を実施しています。近年の少子高齢化社会の進行や、免許制度改正の影響もあり、若年労働者の確保が困難になりつつあるなど、労働環境改善も喫緊の課題です。

さて、トラック輸送産業の市場規模は約11兆円を超え、「生活（くらし）と経済のライフライン」として、産業活動や国民生活に不可欠な存在となっており、これからも社会との共生を図りながら、持続的発展を目指す必要があります。

このため、全日本トラック協会といたしましても、6万3000事業者の叡智と総力を結集して諸課題の解決に全力で取り組んでまいりますので、関係各位、皆様の倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。本年も会員事業者のご繁栄と、皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、平成25年の年頭にあたり私の挨拶といたします。

平成25年 元旦



兵庫県知事

井ノ敏三

～兵庫から未来を拓く～

初春のお喜びを申し上げます。

世界の主要国で次代のリーダーが決まり、新しい国際秩序の構築が求められています。私たち日本も新たな枠組が決まりました。成熟社会にふさわしい社会システムへの転換に向けた歩みを進めなくてはなりません。

人口減少や高齢化を悲観するのではなく、変化に対応しつつ、これまで築いてきた知恵や資源を活かして豊かな地域社会をつくる好機とすべきです。世界に開かれた歴史や文化を有し、多様な人材を輩出して日本をリードしてきた兵庫が、今こそ持てる力を十分に発揮し、未来を拓く先頭に立って歩んでいこうではありませんか。

1つには、安全安心の基盤をつくる。南海トラフ巨大地震や頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、福祉など暮らしを支える基盤を確保します。

2つには、質の高い生活をつくる。次代を担う人づくりを進めるほか、高齢者や女性の活躍を応援し、誰もが生きがいや豊かさを実感できる社会をめざします。

3つには、新時代の経済社会をつくる。最先端の科学技術基盤を活かした新産業創出、農水産物のひょうごブランド戦略の推進など、世界と競える産業をつくります。

4つには、地域の元気をつくる。交通基盤を充実しつつ、地域再生大作戦やツーリズム振興など、内外との交流の促進を通して地域の活性化を図ります。

こうした取組を自らの判断と責任で進めるため、地方分権改革を関西広域連合と一体となって推進するとともに、第2次行革プランの総点検を行い兵庫の自立をめざします。

さあ、21世紀兵庫長期ビジョンのもと、県民みんなの知恵と力、ふるさと兵庫への思いを結集し「創造と共生の舞台・兵庫」をつくりあげていきましょう。

新時代 拓く基は 県民の 知恵と資源を 生かす志



平成25年 年頭の辞

神戸運輸監理部 兵庫陸運部長 藤 田 裕 隆

新年あけましておめでとうございます。平成25年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

最近の我が国の経済状況は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっておりますが、復興需要が引き続き発現するなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待されています。一方、欧州の債務問題や尖閣諸島国有化後の日中両国の関係等、経済環境を巡る不安定要素や世界景気のさらなる下振れ等のリスク要因もあり、予断を許さない状況にあります。

兵庫県下の経済状況も足踏み状態ではありますが、運輸業界を取り巻く環境は、少子高齢化による公共交通機関利用者の減少や輸送需要の低迷及び地球環境・地域交通環境改善や安全対策のためのコスト増等、昨年と同様の厳しい状況が続いているものと認識しています。

昨年4月29日は関越自動車道、8月2日には東北自動車道において、いわゆる高速ツアーバスによる安全・安心を揺るがせる重大事故が発生しました。

兵庫陸運部と致しましては、本事故を受け緊急再発防止対策に取り組んでいるところでありますが、安全の確保は何よりも優先して取り組むべき最重要課題であり各種取組について邁進してまいります。

安全の確保につきましては、平成21年3月に策定した「事業用自動車総合安全プラン2009」により、平成30年までの10年間に事業用自動車による交通事故死者数及び人身事故件数半減、飲酒運転ゼロといった目標の達成に向け取り組んでいるところでありますが、近畿地域においても「近畿グリーンナンバーセーフティープラン2010」を策定し、前述の目標達成に向け、事故防止を目的とした各種施策の推進に努めると共に、より一層の安全対策を図ってまいります。

さらに、運送事業の安全・安心の確保のためには経営トップから現場まで一体となった安全管理体制の構築が大切であるため、各事業者における運輸安全マネジメント体制の確立に努めてまいります。

トラック事業につきましては、経済不況の中、課題は山積しておりますが、適正化実施機関と連携を図りながらコンプライアンスの徹底、さらには、荷主とのパートナーシップ会議の枠組みを活用した適正取引を推進するとともに、補助制度の活用等による環境対策を推進することにより、安全・安心なトラック輸送の実現を目指してまいります。

兵庫陸運部といたしましては、今後とも保安・業務監査、自動車検査等を通じ、安全の確保に努めてまいりますので、皆様方におかれましても、本年も引き続き、安全の確保を大前提としつつ、創意工夫をもって事業にあたられることをお願いいたします。

以上、新しい年を迎え所信を申し述べさせていただきましたが、本年も皆様方には、なお一層のご支援、ご協力をお願い致しますとともに、今年的一年がトラック業界にとって大いなる発展の年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



安全・安心・快適な交通社会の実現を目指して

兵庫県警察本部交通部長 森 本 幾 典

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族ともども穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素、皆様方におかれましては、警察業務の各般にわたり、深い御理解と温かい御支援を賜っておりますことにつきまして、厚く御礼申し上げます。

また、陸上輸送の安全を確保し、トラックドライバーコンテストをはじめ、地域の交通事故防止に資する交通安全教室の開催など、多岐にわたる事業を積極的に実施していただくなど、交通安全対策の推進に御尽力いただき心から感謝申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故情勢をみますと、3年ぶりに人身事故件数及び交通事故死者のいずれも減少しました。

これも一重に、皆様方をはじめ関係機関・団体等の官民一体となる交通死亡事故抑止対策の結果であります。

特に死者数の減少要因といたしまして、道路交通環境の整備、交通安全思想の普及、車両の安全性の向上等、諸対策を総合的に推進してきたことが挙げられ、近年では、危険認知速度（車両の事故直前の速度）の低下、シートベルト着用率の向上などが寄与していると考えられています。

中でも、皆様方をはじめ関係機関・団体によります深遠なる地道な交通安全活動がこの成果を産んだ最大の力でありまして、改めて感謝申し上げる次第であります。

一方、交通事故の要因につきましては、運転者の速度超過や信号無視、歩行者・自転車利用者の無理な横断をはじめ、基本的な交通ルール無視によるものが多く、法軽視の風潮による交通モラルやマナーの低下などを背景に傷者数は4万人を超える高原状態で推移しており、さらに毎年多くの尊い命が輪禍によって失われ、また飲酒運転などによる悲惨な交通事故や死亡ひき逃げ事件が増加するなど、交通事故は県民生活の安全を脅かす不安要因の一つに変わりありません。

また、交通死亡事故の特徴としましては、依然として全死者数に占める高齢死者の割合が約半数を占めております。

今後、「団塊の世代」の方々が65歳以上になられ、高齢者人口の増加に相まって、ご高齢の方が関係する交通事故の増加がさらに懸念されるところで、特に高齢歩行者の事故が多発している夕暮れ時に重点を指向しまして、県民運動である「夕暮れ時の早めのライト点灯運動」と呼応した街頭活動や、夜光反射材の着用促進などの交通安全教育を強化してまいりたいと考えているところであります。

また、自転車に関係した交通事故につきましては、人身事故件数全体に占める割合が2割以上と、その割合も年々増加しているところであります。

自転車は、幅広い年齢層の方が多様な用途で利用されるという性格から、守るべきルールが浸透せず、車両でもなく歩行者でないという誤った理解がなされ、それに伴い自転車の通行場所な

どに関する認識も曖昧になっています。

このようなことから基本的なルールをこれまで以上にしっかりと浸透させるなどの地道な取り組みが必要であり、今後も関係機関・団体等の皆様方と連携し、交通安全教育の実施や広報啓発活動、自転車通行環境の整備、さらには酒酔い運転や信号無視など自転車利用者の悪質・危険な交通違反に対する指導取締りを推進してまいります。

さらに、昨年は京都府下におきまして、通学中の児童や引率していた保護者が無免許運転の車にはねられ死傷するという悲惨な交通事故が発生しましたことから、学校関係者、道路管理者等と連携した道路交通環境の整備をはじめ、日常各地域で実施している保護誘導活動を強化し、関係機関・団体、警察、そしてなにより住民の温かい目で悲惨な交通事故から子どもを守り、県民参加の交通安全活動として通学児童の安全確保に努めてまいります。

交通安全対策は警察の活動だけでは必ずしも十分ではなく、地域住民の方々や関係機関・団体の皆様との緊密な連携により、総合的に推進されてこそ、はじめて大きな成果が期待できるものであります。

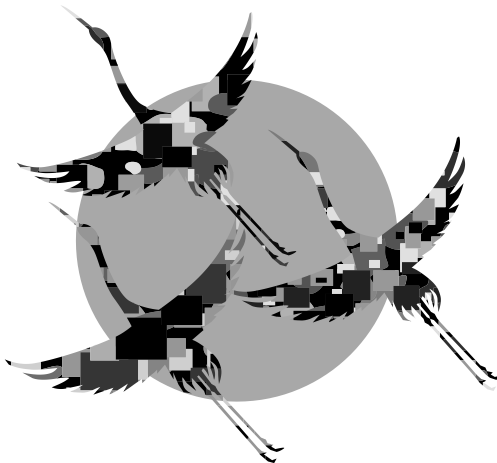
そこで、今後の交通安全対策ということを考えてみた場合、そのキーワードは、「地域社会の連携」であると考えております。

道路交通環境の整備充実が飛躍的に図られ、また、車両の安全性も格段に向上した昨今において、交通事故防止の原点は、県民一人ひとりが「交通事故は身近な問題」として認識することにあります。

そのためには、交通安全活動や交通安全教育等の諸施策を地域社会全体がそれぞれの立場や役割にふさわしい活動が不可欠であり、交通事故の抑止を図る上で従来にも増して大きなウェイトを占めてまいります。

皆様方におかれましては、引き続き適正な運行管理の徹底や他のドライバーの模範として安全運転に努めていただき、安全で安定した陸上輸送を確保し「安全・安心・快適な交通社会の実現」を目指して、今後、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして交通事故のない幸多き年になりますことを心から祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。





年 頭 所 感

兵庫労働局長 前 田 芳 延

新年あけましておめでとうございます。

社団法人兵庫県トラック協会並びに会員の皆様方におかれましては、平素から労働行政の推進につきまして、多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、去年は、電力需給の逼迫による夏の節電対策、欧州政府債務危機に端を発した海外経済の減速等から、全国的に厳しい経済情勢が続く中、中国等との経済活動にも不確実性が見られ、県内の経済動向への影響が懸念されるところです。

雇用情勢については、平成24年上半期には有効求人倍率も緩やかな改善傾向にあったものの、下半期は先行きの不透明感から持ち直しの傾向に足踏みがみられています。

このような情勢の下、労働基準行政においては、賃金不払や長時間労働等の申告や相談が多く寄せられていることから、労働者が安心して働くことのできる職場環境の実現を目指し、労働条件の確保・改善対策など労働関係法令の履行確保を引き続き進めてまいります。

労働災害防止については、平成25年3月までは兵庫第11次労働災害防止推進5か年計画（以下「11次防」という。）の仕上げの期間であり、4月からは11次防の成果、反省に立った兵庫第12次労働災害防止推進5か年計画（以下「12次防」という。）の開始という重要な年にあたります。そこで、当局では、11次防で重点業種として取り組んできた製造業、建設業、陸上貨物運送事業及び第三次産業を引き続き重点業種とし、特に災害が増加している小売業、社会福祉施設及び陸上貨物運送事業については力を入れることとしております。また、中小規模事業場へのリスクアセスメントと労働安全衛生マネジメントシステムの導入促進、安全パトロール等の実施などにより、各事業場での自主的な安全衛生管理活動の定着、活性化を図り、死傷災害の減少に全力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、陸上貨物運送事業につきましては、荷主が管理する施設での荷役作業中の災害が多く発生していることから、荷役作業時の安全確保について事業主への指導、並びに荷主への要請を行うこととしております。

このほか、メンタルヘルス対策等の健康確保対策、石綿による健康障害、粉じん障害等の職業性疾病予防対策を推進するとともに、職場のいじめ・嫌がらせについて、その予防・解決に向けた社会的気運の醸成に努めるほか、急増する労働相談に対し、個別労働紛争解決制度の積極的な運用を図り、迅速な解決に努めてまいります。

職業安定行政においては、引き続き求人・求職の的確なマッチングの推進に努めるとともに、求職者支援制度に基づいた職業訓練等、積極的な就労・生活支援対策を推進してまいります。

このほか、障害者の法定雇用率が本年4月から2.0%に引き上げられることから、一層積極的に障害者の雇用促進に取り組むとともに、改正労働者派遣法に基づき労働者派遣事業の適正な運営を図るほか、高年齢者雇用安定法の改正についての周知、円滑な施行に尽力してまいります。

雇用均等行政においては、昨年6月から開始した「女性の活躍促進・企業活性推進営業大作戦」を引き続き推進し、県内企業の女性労働者の活躍を促すためのポジティブ・アクションの積極的な取組を促してまいります。

また、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として認定する「くるみん」マークの取得を促すことにより、仕事と家庭の両立が図られる雇用環境の整備に取り組んでまいります。

貴協会におかれましても、労働災害防止はもとより、これら諸施策の推進にご理解とご協力を賜り、引き続き、労働行政へのご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様方の益々のご発展、ご活躍と本年が明るい年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



行政からのお知らせ



国土交通

平成25年 1 月

(社) 兵庫県トラック協会会員各位

国土交通省近畿地方整備局
国土交通省近畿運輸局
阪神高速道路(株)
兵庫県警察本部

国道43号・阪神高速3号神戸線沿道の大気環境改善 のための協力について（お願い）

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、自動車輸送をとりまく環境問題に積極的にお取り組み頂き、ありがとうございます。

さて、国土交通省近畿地方整備局、近畿運輸局、阪神高速道路(株)、兵庫県警察本部では、「国道43号等の道路交通環境対策の推進について（当面の取組）」（平成12年6月6日：警察庁・環境庁・通商産業省・運輸省・建設省）に基づき、大気環境の改善に向けた対策を鋭意進めています。その一環として、平成13年2月から13回にわたり、国道43号・阪神高速3号神戸線沿道の大気環境改善のために阪神高速5号湾岸線等への迂回を呼びかける交通需要軽減キャンペーンを実施しています。この取り組みを継続することが重要と考えており、今年度においても平成25年2月1日（金）から2月28日（木）までの1ヶ月間にわたり『第14回交通需要軽減キャンペーン』を実施いたします。

つきましては、上記の趣旨をご賢察いただき、以下の内容について格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1. 国道43号や阪神高速3号神戸線から阪神高速5号湾岸線等へ迂回するなど大気環境に配慮した道路利用をお願いします。
2. 貴社の運転手の皆様への周知も併せてお願いします。

また、より一層の沿道環境改善を図るため「国道43号通行ルール（兵庫県域）」を策定し、平成24年3月から事業所やドライバーの方々に協力を呼びかけているところですので、併せてご理解ご協力お願い申し上げます。

20121022中第2号
公取企第73号
平成24年11月19日

関係事業者団体代表者 殿

経済産業大臣
公正取引委員会委員長代理委員

下請取引の適正化について

我が国の景気は、世界景気の減速等を背景として、弱い動きがみられます。世界景気の更なる下振れや金融資本市場の変動等が景気を下押しするリスクとなっており、とりわけ中小企業においては、デフレの影響等に対する注意が必要とされている中で、円高等の影響も懸念され、予断を許さない状況にあります。

こうした経済状況を踏まえ、公正取引委員会及び経済産業省は、下請代金支払遅延等防止法（昭和31年法律第120号。以下「下請法」といいます。）違反行為への厳正な対処を行うとともに、親事業者等に対する下請法の普及啓発を行っております。

下請法は「下請代金の支払遅延」、「下請代金の減額」、「買いたたき」等の行為を禁止するものです。平成23年度においても、違反した親事業者に対して、支払遅延については下請代金を速やかに支払わせ、下請代金の減額については減額分を下請事業者に返還させるなど、18件の勧告を行っているところ、公正取引委員会及び経済産業省は、本年度も一層、下請法の厳正な運用に努めてまいります。

公正取引委員会においては、下請取引の適正化を一層推進する観点から、下請事業者を始めとした中小事業者が所在する地域に公正取引委員会職員が出張し、下請法について分かりやすく説明するとともに中小事業者からの相談受付等を行う「移動相談会」、企業のコンプライアンス意識の高まりや、下請法に関する基礎的な内容について講習を受けたいとの要望に応じた「下請法基礎講習会」、下請法に関する一定の知識を有する者を対象として、より具体的な事例を中心とする「下請法応用講習会」を実施しております。

さらに、過去に下請法違反がみられた業種等に一層の法令遵守を促すことを目的として、業種ごとの実態に即した分かりやすい例を用いて説明を行う「業種別講習会」を実施しております。

経済産業省においては、下請法の法令遵守の徹底を促すため、累犯により改善指導を受けた親事業者等の役員等への特別事情聴取の実施、全国47の県庁所在地にて企業の調達者等を対象

とした下請法の講習会を開催、業種の特性に応じた違反行為や望ましい取引事例を解説する下請適正取引等の推進のためのガイドライン（下請ガイドライン）説明会の開催等を実施しております。

冒頭で触れました現下の厳しい経済状況では、世界景気の減速や円高等による企業収益への影響などが立場の弱い下請事業者に不当にしわ寄せされることのないよう配慮することが必要です。特に、これから年末にかけての金融繁忙期を迎えるに当たり、下請事業者の資金繰り等について一層厳しさを増すことが懸念され、親事業者が下請代金を早期にかつ可能な限り現金で支払い、下請事業者の資金繰りに支障を来さないようにすることが期待されます。

貴団体におかれましては、このような状況を十分に認識いただき、下請事業者への不当なしわ寄せが生ずることのないよう、前記趣旨及び別紙1の記載事項について、改めて貴団体所属の事業者に対し周知徹底を図り、下請取引の適正化を指導されるよう強く要請いたします。

最近では、法令遵守意識の高まりを受け、企業の中には自主的に様々な工夫を施し下請法の趣旨を分かりやすく社内で説明するなど、下請法の理解が深まるような取組を積極的に行っている事例もあります。貴団体におかれましても、このような取組を貴団体所属の事業者に推奨していただきたいと思います。

大手企業の中にも依然として法令遵守が徹底していない事例がみられ、減額、支払遅延などの下請法違反行為が行われ、改善指導や勧告の対象となった親事業者も存在します。勧告の対象となった場合には事業者名等の公表を行うことになることから、このような事態の生じることのないよう、貴団体所属の事業者の下請法遵守の重要性を周知いただきたいと思います。



ご協力ありがとうございました

交通遺児の募金を寄せられた会員

(平成24年12月17日現在)

H24・12・17 (株)ショーゼン

20,474 円

交通遺児募金の郵便振替口座

○口座番号	01170-6-54803
○口座名	社団法人 兵庫県トラック協会募金係

神戸市建設局からのお願い

神建道管第3612号
平成24年12月17日

社団法人 兵庫県トラック協会
会長 福永 征秀 様

道路管理者
神戸市長 矢田立郎

大型車（特殊車両）の国道428号の通行について（お願い）

寒さ厳しい折、貴協会におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、道路交通行政に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、大型車（特殊車両）の通行にあたっては交通安全の観点から、貴協会においても傘下各社に常日頃指導いただいていることと思います。

道路法では、一定の大きさ（幅2.5m、長さ12m、重さ20tなど）を超える車両（特殊車両といえます。）を通行させる時は、道路管理者の通行許可を受けるよう定めており、道路管理者は通行許可申請を受けて審査した後、道路の構造を保全し、交通の危険を防止するために必要な条件をつけて通行を許可することになっています。

このたび、神戸市域内では、国道428号の抜け道として、神戸市道日の峰1号線について大型車両の通行が増加し、振動・騒音の苦情が周辺住民から多数寄せられています。

神戸市では、市道日の峰1号線については、目的地付近でない場合は、特殊車両の通行を許可していませんので、幹線道路である国道428号を通行するよう周知していただきますようお願いいたします。



また、同様に、神戸市道夢野白川線・山麓線・湊町線を通行する大型車の増加により、その昼夜を問わない騒音・振動の苦情も多いのが現状です。

つきましては、貴協会の関係者に大型車（特殊車両）の通行許可の取得とともに許可条件や通行経路および、道路交通法上の制限速度遵守を周知徹底していただきますようお願い申し上げます。

担当：神戸市建設局道路部管理課道路台帳係 TEL 直通 078（322）5384

全ト協発第442号（環）
平成24年12月13日

各都道府県トラック協会
会 長 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 星 野 良 三

「冬用タイヤの装着およびチェーンの携行・装着」について

平素は当協会の業務運営に種々ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般、国土交通省北陸地方整備局、石川県、金沢市、石川県警察本部および中日本高速道路（株）より標記「冬用タイヤの装着およびチェーンの携行・装着」についての要請通知が発出されました。

近年は、石川県に限らず12～1月に予想を超える大雪となるケースが増え、この時期からの適切な雪道対策が求められます。もし、交通事故やスリップ、大雪等でトラックが立ち往生してしまうと、周辺道路の大渋滞を招き、迂回路のない地域では大混乱を来します。

つきましては、貴協会傘下の会員事業者に対し、降雪地域を運行する場合は、タイヤチェーンを必ず携行（豪雪地域の場合はダブルチェーンの携行）するなどの雪道対策を万全に整えていただくよう、周知徹底をお願い申し上げます。

詳細については全ト協ホームページをご覧ください。

http://www.jta.or.jp/info/snow_chain2012.html

「原価意識向上のための基礎セミナー」のご案内

今後のトラック運送事業を継続的かつ収益力のある産業として発展させていくためには、経営改善とともに原価水準に見合った運賃収受に向けた取り組みを進めていく必要があります。

事業全体、車両単位、取引先や業務単位ごとの原価水準を適切に把握することにより経営改善に取り組むことができます。また、輸送原価データを基にした客観的数値を示した運賃交渉も可能となります。

本セミナーは、全日本トラック協会の支援によりH24年9月からH25年3月に開催されるセミナーの一環です。

兵庫県においては、来る2月1日に本セミナーを下記のとおり開催することとなりましたのでご案内致します。

受講を希望される方は、別紙申込書をコピーしてご使用いただき1月24日（木）迄にFAXにて当協会（FAX078-882-5565）までお申し込み下さい。

記

日 時：平成25年2月1日（金） 13：30～17：00

場 所：（社）兵庫県トラック協会 本部研修センター

神戸市灘区大石東町2丁目4-27

講 師：日本PMIコンサルティング（株）

主席コンサルタント 小坂 真弘 氏

- ① トラック運送業における原価について
- ② トラック運送業における原価計算の方法について
- ③ 原価計算結果の活用について

16：30～ 質疑応答

なお、本セミナーは新築となった兵ト協・研修センターで初めて開催するものです。見物を兼ねてのご来場をお待ち致しております。

< 担当：兵庫県トラック協会 適正化事業部 >



別 紙

「原価意識向上のための基礎セミナー」申込書

(社) 兵庫県トラック協会

適 正 化 事 業 部 宛

(F A X 0 7 8 - 8 8 2 - 5 5 6 5)

◎ 2 月 1 日 (金) 1 3 : 3 0 ~ 本部研修センター

会 社 名 _____

電 話 番 号 _____

参 加 者 名 _____

支 部 名 _____

運行管理者試験事前講習会開催のご案内

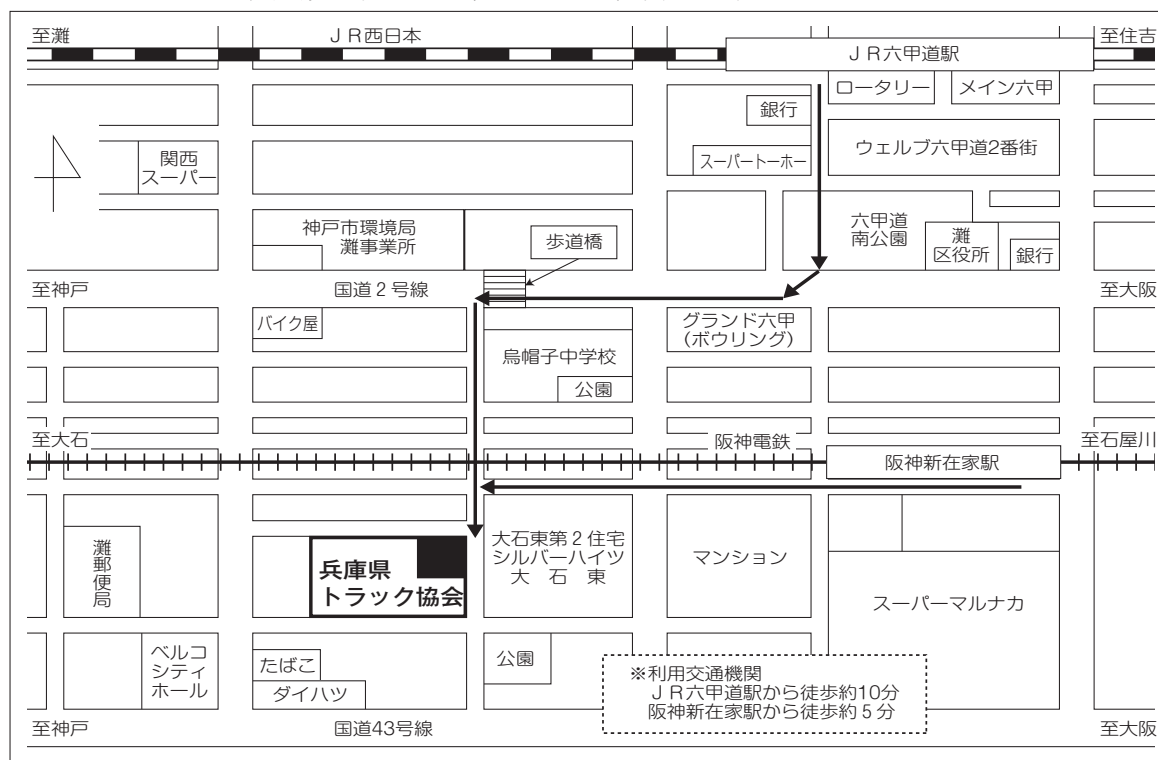
平成25年3月3日（日）に開催されます、平成24年度第2回運行管理者試験を受験される方を対象に、事前講習会を開催いたしますので、下記のとおりご案内申し上げます。

つきましては、参加を希望される方は、申込書（次ページ別紙）をコピーのうえ、平成25年2月5日（火）までにFAXにてお申込み下さい。

なお、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

記

1. 日 時 平成25年2月6日（水） 13時～17時頃
2. 場 所 兵庫県トラック協会 3F大会議室 神戸市灘区大石東町2丁目4番27号
※御来場の際には必ず公共交通機関をご利用下さい。



(注) 運行管理者試験受験対策問題集を教材として使用いたします。

教材となる右の問題集は、当協会において販売しております。

なお、当日会場においても販売します。

(協会一括購入価格2,050円)

【使用する問題集】

運行管理者試験（貨物）
受験対策問題集

解答・関係法令付き
第26版 [平成24年5月改訂]
日通総合研究所
カーゴニュース



問い合わせ (社) 兵庫県トラック協会 適正化事業部

TEL 078-882-5556 FAX 078-882-5565

(別 紙)

運行管理者試験事前講習会申込書

(社) 兵庫県トラック協会
適正化事業部 宛
(FAX 078-882-5565)

開催日時：平成25年2月6日(水) 13時～17時頃

場 所：神戸市灘区大石東町2丁目4番27号

主 催：社団法人 兵庫県トラック協会 適正化事業部

ふりがな

受講者名

会社名

電話番号

自動車事故対策機構からのお知らせ

平成24年度 第2回 NASVA安全マネジメント支援ツール講習会

今年度の支援ツール講習会では、これまでのデジタコやドラレコの活用方法の紹介等から一新して、それら支援ツール機器から得られた事故やヒヤリ・ハットデータ等の原因分析手法に焦点を当てた講習内容となっております。

具体的には、事故要因分析法の一つである「なぜなぜ分析」手法の実習・体験型のカリキュラムを予定しております。

是非ご参加いただき、自社の安全マネジメントの取り組み（交通事故防止）の一層の向上にお役に立て下さい。参加をお待ちしております。

1. 日 時 : 平成25年2月8日（金）13:00～16:30
2. 場 所 : 兵庫県自動車会館
神戸市東灘区魚崎浜町33（神戸運輸管理部兵庫陸運部の隣）
3. 受講料 : 5,000円（テキスト代含む）
4. 定 員 : 40名
5. 締切日 : 平成25年1月25日（金）*ただし定員になり次第締切！
6. 対 象 : 運行管理者、教育担当、渉外担当 等
7. 申込・問合せ先 :

独立行政法人自動車事故対策機構兵庫支所 TEL: 078-331-6890
安全マネジメント講習会事務局（担当：八木、田口、布施）

※ お申込みは、申込書（別紙）に所定事項を記入の上

FAX (078-331-3682) にてお願いします

■プログラム

- 「リスク管理」について
- 「事故原因分析手法」について
- 「なぜなぜ分析」の実習
- グループ討議

NASVA兵庫支所安全マネジメント担当者

※プログラムは予告なく変更することもありますのでご了承ください。



NASVA
ナ ス バ

NASVAは安全・安心のパートナー

独立行政法人
自動車事故対策機構

安全マネジメント支援ツール講習会申込書 兼 受講票

NASVA受付印欄
※記入しないでください

ふりがな
貴社名：
(団体名等)

〒
住所：

TEL：

FAX：

申込担当者：

事業の種類： 1. バス 2. ハイ・タク 3. トラック 4. その他()

貴社の事業規模(保有車両数)をお尋ねいたします。

☐ 50両未満 ☐ 50～100両 ☐ 100～200両 ☐ 200～300両 ☐ 300両以上
※過去にNASVA安全マネジメント講習会の受講有無 ☐ あり ☐ なし

(ふりがな)
受講者氏名

生年月日

昭和・平成 年 月 日

役職名

☐ 社長(代表者) ☐ 安全統括管理者(役員) ☐ 運行管理者 ☐ 補助者
☐ その他()

開催日時

平成25年2月8日(金)13時～16時30分 (受付:12時30分～50分)

※ 受講当日の注意事項

1. 受講料は、お一人様 5,000円(消費税、テキスト代含む)ですので、受講当日現金でお支払い下さい。
2. 受講票(当機構より返信した「受付印」が押印された本用紙)を、必ずご持参下さい。
3. 兵庫県自動車会館の専用駐車場(有料)があります。なお、隣の兵庫陸運部駐車場には駐車できません。

その他:※ 受付申込は先着順にて行ないます。また、数名でお申込みの場合調整させていただくこともあります。
※ この申込書は1名につき1枚使用します。2名様以上で申込まれる場合はコピーしてお使い下さい。

◆ 開催会場： 兵庫県自動車会館 2階

神戸市東灘区魚崎浜町33 (神戸運輸管理部兵庫陸運部の隣)
安全マネジメント講習会事務局担当：八木、田口、布施
連絡先：078-331-6890

FAX 078-331-3682



NASVAは安全・安心のパートナー

独立行政法人
自動車事故対策機構

平成24年度 第2回 NASVA 安全マネジメント講習会(基礎編)

平成18年10月の運輸安全マネジメント制度の開始から毎年本講習を開催し、運送事業者の経営者及び運行管理実務者の方々に受講していただきました。

未だ本講習会に参加されていない方々は、是非ともご出席をいただき運輸安全マネジメントに対する理解を深め、交通事故防止の取り組みに活かしていただけるよう、安全マネジメントに関する情報を提供させていただきます。

今回の講習会は基礎編とさせていただきます、また、交通事故防止に向けた安全管理体制構築の重要性が高まる中、本年10月1日から発行された「道路交通安全マネジメントシステム(ISO39001)」の概要も紹介させていただきますので、是非、参考にいただければと思います。

1. 日 時 : 平成25年2月15日(金) 13:00~16:00
2. 場 所 : 兵庫県自動車会館
神戸市東灘区魚崎浜町33(神戸運輸管理部兵庫陸運部の隣)
3. 受講料 : 5,000円(テキスト代含む)
4. 定 員 : 60名(定員になり次第締切!お申込みはお早めに)
5. 申込・問合せ先 :
独立行政法人 自動車事故対策機構 兵庫支所
安全マネジメント講習会事務局(担当:八木、田口、布施)
TEL: 078-331-6890

※ お申込みは、申込書(別紙)に所定事項を記入の上
FAX (078-331-3682)にてお願いします

■講習

- ・「運輸安全マネジメントの構築と運用(基礎編)について」
- ・「道路交通安全マネジメントシステム(ISO39001)について」

NASVA兵庫支所 安全マネジメント担当者

■特別講演

(仮称)「運輸安全マネジメント制度導入から5周年を迎えて」

神戸運輸監理部 兵庫陸運部担当官



NASVA 安全マネジメント講習会申込書 兼 受講票

NASVA受付印欄
※記入しないでください

ふりがな
貴社名：
(団体名等)

〒
住所：

TEL：

FAX：

申込担当者：

事業の種類： 1. バス 2. ハイ・タク 3. トラック 4. その他()

貴社の事業規模(保有車両数)をお尋ねいたします。

☐ 50両未満 ☐ 50～100両 ☐ 100～200両 ☐ 200～300両 ☐ 300両以上
※過去にNASVA安全マネジメント講習会の受講有無 ☐ あり ☐ なし

(ふりがな)
受講者氏名

生年月日

昭和・平成 年 月 日

役職名

☐ 社長(代表者) ☐ 安全統括管理者(役員) ☐ 運行管理者 ☐ 補助者
☐ その他()

開催日時

平成25年2月15日(金) 13時～16時 (受付:12時30分～50分)

※ 受講当日の注意事項

1. 受講料は、お一人様 5,000円(消費税、テキスト代含む)ですので、受講当日現金でお支払い下さい。
2. 受講票(当機構より返信した「受付印」が押印された本用紙)を、必ずご持参下さい。
3. 兵庫県自動車会館の専用駐車場(有料)があります。なお、隣の兵庫陸運部駐車場には駐車できません。

その他:※ 受付申込は先着順にて行ないます。また、数名でお申込みの場合調整させていただくこともあります。
※ この申込書は1名につき1枚使用します。2名様以上で申込まれる場合はコピーしてお使い下さい。

◆ 開催会場： 兵庫県自動車会館 2階

神戸市東灘区魚崎浜町33 (神戸運輸管理部兵庫陸運部の隣)
安全マネジメント講習会事務局担当：八木、田口、布施
連絡先：078-331-6890

FAX 078-331-3682

NASVA
ナ ス バ

NASVAは安全・安心のパートナー

株式会社
自動車事故対策機構

関西交通経済研究センターからのお知らせ

シンポジウム 2013

安マネ制度導入から6年が経過 “いまどう動くか?”

「トラックモード」

“命を預かる運行管理”

平成18年10月に経営トップから現場までが一体となって輸送の安全確保を目指す「運輸安全マネジメント制度」が導入され6年が経過しました。

今回のシンポジウムは、中小規模事業者が「運輸安全マネジメント」の取組みに当たって抱えている課題を業態別に抽出し、輸送の安全の確保に向けて今後採るべき方策と方向性を探るとともに、実効性のある「運輸安全マネジメント」の取組みの強化を目指します。是非ご参加ください。

◆日時：平成25年1月29日(火)
13時30分～16時30分

◆会場：クレオ大阪東 ホール
(大阪市立男女共同参画センター東部館)
大阪市城東区嶋野西2-1-21
TEL 06-6965-1200

◆参加費無料 定員：200名



★JR環状線・東西線・学研都市線「京橋」駅(南口)から南へ徒歩約7分
★地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅(4番出口)から東へ徒歩約9分

プログラム

第1部

- ◆ 基調報告「運輸安全マネジメント制度に係る取組状況等について」
小林 久詩 氏 近畿運輸局 自動車監査指導部 首席自動車監査官
- ◆ 健康講座「ドライバーにおけるアンチエイジング的な健康管理について」
辻 大 氏 医療法人 京昭会 ツチ病院 病院長

《 休 憩 》

第2部

- ◆ パネルディスカッション
- ★ テーマ「運輸安全マネジメントへの取り組みと課題」
- ★ パネリスト

株式会社 シンワ・アクティブ	代表取締役社長	吉本 英雄 氏
荒木運送 株式会社	代表取締役社長	荒木 律也 氏
テーエス運輸 株式会社	取締役社長	松本 紀夫 氏
近畿運輸局 自動車監査指導部	首席自動車監査官	小林 久詩 氏

- ★ コーディネーター
甲南女子大学 人間科学部
- 講師 藤島 寛 氏

- ◆ 主 催 : 公益財団法人 関西交通経済研究センター
運輸安全マネジメント支援センター
- ◆ 後 援 : 近畿運輸局 / 近畿トラック協会 / 一般財団法人 近畿陸運協会

参加申込方法

- ① 下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、公益財団法人 関西交通経済研究センターあて F A X 又は E メールでお申し込み下さい。
- ② 申し込み締め切り日は、平成 2 5 年 1 月 2 1 日（月）です。
（定員に達した場合は締め切らせていただきます）
- ③ 当日は、参加申し込み確認のため、受付にて参加申込書または名刺をご提出ください。
なお、参加申込者に代わる代理の方のご出席は差し支えありません。（名刺等をご用意下さい）

お申し込み F A X 番号： 0 6 - 6 5 4 3 - 6 2 9 5

E-mail：a-tsd@kankouken.org

参加申込書

御 社 名 (団 体 名)	T E L () —	
	F A X () —	
	E-mail :	
ご 住 所	(〒 —)	
お 名 前		所属
		所属
		所属
		所属
		所属

[お問い合わせ・お申し込み先]

公益財団法人 関西交通経済研究センター

 運輸安全マネジメント支援センター

T E L : 0 6 - 6 5 4 3 - 6 2 9 1 / F A X : 0 6 - 6 5 4 3 - 6 2 9 5

※[個人情報の取扱いについて]

参加申込書にご記入頂きました個人情報は厳正に管理し、本シンポジウムに関する確認・連絡の通知の際に使用させていただきます。他の目的での利用や第三者へ提供することは一切ございません。

労働安全衛生法に係る技能講習のご案内 〈兵庫労働局登録教習機関〔兵労基安登録第14号〕〉

はい作業主任者技能講習会のお知らせ

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 兵庫県支部

「はい」とは、荷の保管、仮置、検数、薰蒸などを行うために倉庫、上屋または土場に積み重ねられた荷（小麦、大豆、鉱石等のばら物を除く）の集団をいいます。

高さが2メートル以上の「はい」作業（荷役機械の運転者のみによって行われるものを除く）を行っている事業場では労働安全衛生法第14条によるはい作業主任者の資格を取得させ、そのうちから「はい作業主任者」を選任して作業をしなければなりません。

1. 講習日時・会場 注：当日は8時45分より受け付けします。

講習日時	1日目	平成25年2月20日（水） 9時～17時（座学講習）
	2日目	平成25年2月21日（木） 9時～18時（座学講習、修了試験）
講習会場	兵庫県トラック総合会館 3階会議室 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 ※受講者の為の駐車場はありません。	

2. 受講料

	受講料	テキスト代	合計
兵ト協会員	6,500円 (内消費税5% 309円)	無 料 (陸災防兵庫県支部負担)	6,500円 (内消費税5% 309円)
非 会 員	6,500円 (内消費税5% 309円)	1,500円 (内消費税5% 71円)	8,000円 (内消費税5% 380円)

3. 受講資格

「はい」付け又は「はい」くずしの作業に3年以上従事した経験を有する方。

※ 受講申込書に実務経験証明書が付随しています。証明者の職氏名（事業場の代表又は責任者の方）の記入及び、押印（丸印）が必要です。（角印は認められません。）

4. 申込要領

- (1) 陸運労災防止協会兵庫県支部事務局へ定員枠の空き状況を電話で確認し、必ず予約受付を行ってから次の①～④を現金書留で次の申込先に郵送して下さい。

予約受付 及び申込書受付期間

平成25年1月15日（火）～平成25年2月12日（火）必着

ただし、期間にかかわらず定員に達し次第締め切ります。

（定員に空きがあれば、前日まで受付可能ですので、お問合せ下さい。）

- ① 受講申込書（A4サイズにコピーまたは、切り取ってご使用して下さい）

② 証明写真 2 枚（サイズ縦3.6～4cm、横2.4～3cm）

※ 合格された場合の修了証に使用します。スキャナーで画像処理しプラスチックカードにカラー印字いたしますので、スナップ写真、カラーコピー等画像の不鮮明なものは使用できません。

証明写真 2 枚の内うち 1 枚は、①の受講申込書に貼り付けて下さい。

③ 本籍地を証明できる書類

※ 住民票の写し等（運転免許証に本籍地が記載されている場合は、免許証のコピーでも可）

④ 受講料

納入された受講料は、受講票を発行した以後は、一切返金いたしません。

受講票は、申込後約 1 週間程度で所属事業場宛てに郵送いたします。

（申込先）

〒657-0043 神戸市灘区大石東町 2 丁目4-27 兵庫県トラック協会内
陸運労災防止協会兵庫県支部
電話 (078) 882-5556

※ 持参される場合の受付時間は、10時～16時（12時～13時は除く）。

5. 持 参 品

受講票・筆記具（えんぴつ・消しゴム）

6. 修 了 証

法定の講習時間を受講し、修了試験に合格した方には、当日、修了証を交付いたします。

2 日のうち 1 日でも欠席の場合は不合格となります。

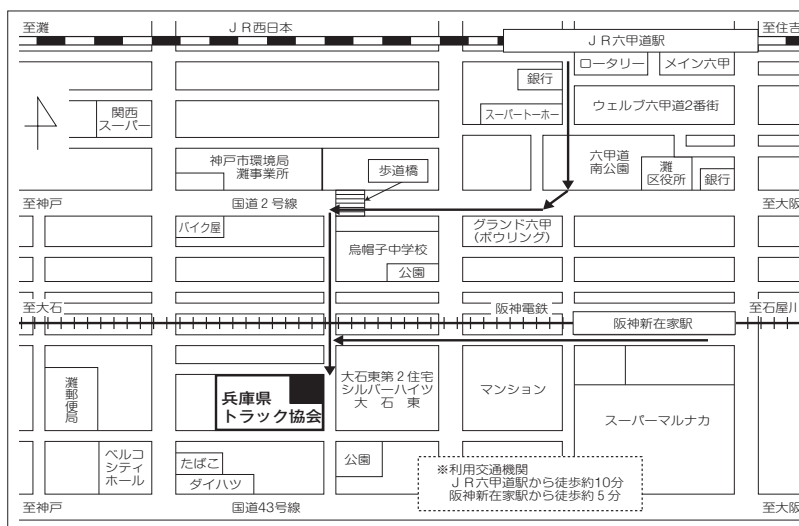
7. 留 意 事 項

修了試験において不合格となった場合、追試験を 1 回のみ受験することができます。

追試験を希望される場合は、受験料2,100円（税込）が必要となりますのでご留意下さい。（原則、追試験は、講習会当日の合格発表後、実施します。）

はい作業主任者技能講習会場 兵庫県トラック総合会館

神戸市灘区大石東町 2 丁目 4 番 2 7 号
TEL (078) 882-5556



はい作業主任者技能講習会

受講申込書

修了証台帳

写真貼付し
て下さい。
縦3.5 c m
横2.5 c m

ふりがな		性別		※
氏名		男・女	修了証 番号	
生年月日	年 月 日生	交付年月日		※
現住所 (修了証に載ります)	〒 電話 (携帯電話)			都道府県 本籍
勤務先	所在地	〒 電話 F A X		
	名称			

証 明 書	
受講者氏名 _____ ㊞	
上記の者は、はい付け又ははいくずしの作業に _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで 3年以上従事した経験を有する者であることを証明します。	
平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
事業者名 _____	
事業者 _____ ㊞	
書替・再交付年月日	※ _____ 年 _____ 月 _____ 日

(注) ※以外は申込者において全部記載すること。
ご記入いただいた個人情報、当講習会の実施及び修了証交付の為にのみ使用します。

フォークリフト運転技能講習会（31時間講習）のお知らせ

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 兵庫県支部

※ 最大荷重1トン以上のフォークリフトの運転（道交法による道路上を走行させる運転を除く）の業務には、都道府県労働局長の登録教習機関で技能講習を修了した方であれば就業できません。

1. 講習日時・会場

学科	講習日	平成25年3月9日(土) 8時30分～ 8時15分受付
	会場	兵庫県トラック総合会館 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 ※受講者の為の駐車場はありません。 (公共交通機関を利用して下さい)
実技	講習日	平成25年3月10日(日) 8時～ 7時45分受付 3月16日(土) 8時～ 3月17日(日) 8時～
	会場	神戸港湾教育訓練協会 神戸市中央区港島8-11-3 ※駐車場：有

2. 受講料

	受講料	テキスト代	合計	受講資格
兵ト協会員	33,600円 〔内消費税5% 1,600円〕	陸災防兵庫 県支部負担	33,600円 〔内消費税5% 1,600円〕	普通自動車運転免許を 有し、満18歳以上の方。
非会員	33,600円 〔内消費税5% 1,600円〕	1,400円 〔内消費税5% 66円〕	35,000円 〔内消費税5% 1,666円〕	

3. 申込要領

- (1) 陸運労災防止協会兵庫県支部事務局へ定員枠の空き状況を電話で確認し、必ず予約受付を行ってから次の①～④を現金書留で下記申込先に郵送して下さい。

予約受付及び申込書受付期間

平成25年2月4日(月)～平成25年2月26日(火) 必着

ただし、期間にかかわらず定員(50名)に達ししだい締め切ります。

(定員に空きがあれば、学科講習日の前日まで受付可能ですので、お問合せ下さい。)

- ① 受講申込書 (A4サイズにコピーして使用して下さい)

- ② 証明写真2枚 (サイズ縦3.5 cm、横2.5 cm)

※ 合格された場合の修了証に使用します。スキャナーで画像処理しプラスチックカードにカラー印字いたしますので、スナップ写真、カラーコピー等画像の不鮮明なものは使用できません。

2枚の内うち1枚は、①の受講申込書に貼り付けて下さい。

③ 本籍地を証明できる書類

※ 住民票の写し等（運転免許証に本籍地が記載されている場合は、免許証のコピーでも可）

④ 受講料

納入された受講料は、受講票を発行した以後は、一切返金いたしません。

受講票は、講習会初日の約5日前程度に所属事業場宛てに郵送いたします。

（申込先）

〒657-0043 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 兵庫県トラック協会内
陸運労災防止協会兵庫県支部
電話 (078) 882-5556

※ 持参される場合の受付時間は、10時～16時（12時～13時は除く）。

4. 修了証

法定の講習時間を受講し、学科実技共、修了試験に合格した方には修了証を交付いたします。

4日のうち1日でも欠席の場合は不合格となります。

5. 持参品

学科講習日：受講票・筆記具（えんぴつ・消しゴム）

実技講習日：受講票・ヘルメット・安全靴・作業服（長そで：運転の際は長そでで行います）・カッパ（雨天の場合でも実施致します）

6. 修了証

法定の講習時間を受講し、修了試験に合格した方には、当日、修了証を交付いたします。

4日のうち1日でも欠席の場合は不合格となります。

7. 留意事項

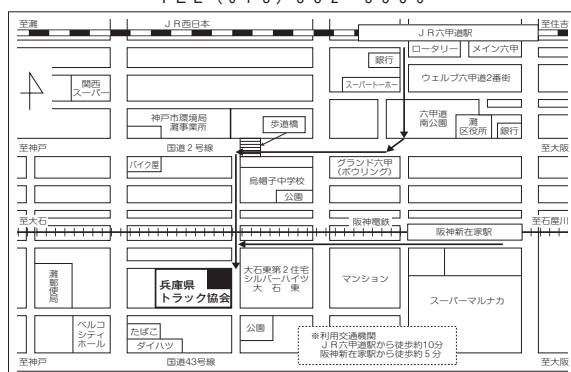
修了試験において不合格となった場合、追試験を1回のみ受験することができます。

追試験を希望される場合は、受験料2,100円（税込）が必要となりますのでご留意下さい。

学 科 会 場

兵庫県トラック総合会館

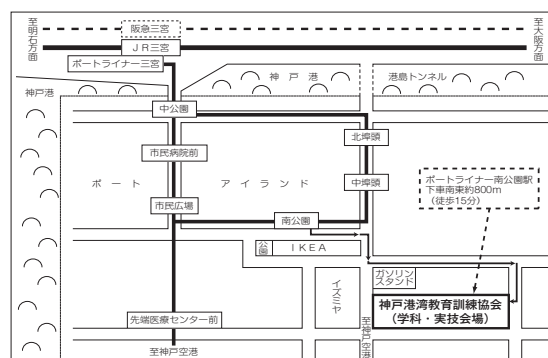
神戸市灘区大石東町2丁目4番27号
TEL (078) 882-5556



実 技 会 場

神戸港湾教育訓練協会

神戸市中央区港島8-11-3



フォークリフト運転技能講習会

受講申込書

修了証台帳

証明写真を
貼付して下
さい。
縦3.5 c m
横2.5 c m

ふりがな			性別	修了証 番 号	※		
氏 名			男 ・ 女				
生 年 月 日		年 月 日生		交付年月日	※		
現 住 所 (修了証に載ります)		〒			本 籍	都 道 府 県	
		電 話 (携帯電話)					
勤務先	所在地	〒					
	名 称	電 話 F A X					
所持する自動車 運 転 免 許 証	1. 大型特殊(カタピラ限定なし)			免許証番号			
	2. 大 型			取得年月日			
	3. 中 型			年 月 日			
4. 普 通			発行者				
5. 大型特殊(カタピラ限定付)			公安委員会				
(注)所持する免許に○を付けて下さい							
ここに自動車運転免許証のコピーを貼付して 下さい。				平成 年 月 日			
				受講者氏名 ㊞			
書替・再交付年月日		※ 年 月 日					

(注) ※以外は申込者において全部記載すること。
ご記入いただいた個人情報は、当講習会の実施及び修了証交付の為にのみ使用します。

平成24年度 労働安全衛生法に係る技能講習 実施計画表（予定）

兵庫労働局長登録教習機関
陸上貨物運送事業労働災害防止協会 兵庫県支部

- フォークリフト運転技能講習〔兵労基安登録第12号〕（各回4日間 定員 50人／回）
31時間講習（4日間）、11時間講習（2日間 ※印の科目を免除、但し、科目免除資格の証明が必要）

実施時期				講習科目（時間）	種類	実施場所
第3回	H25 3月	9日（土）	8:30～18:00	関係法令（1）力学（2） 装置の構造、取扱方法（4） 修了試験	学科	兵ト協 総合会館
		10日（日）	8:00～17:10	走行の操作（8）※	実技	神戸港湾 教育訓練 センター （神戸市）
		16日（土）	8:00～17:10	走行の操作（8）※		
		17日（日）	8:00～18:20	走行の操作（4）※ 荷役の操作（4） 修了試験		

- ◆ はい作業主任者技能講習〔兵労基安登録第14号〕（各回2日間）

実施時期				講習科目（時間）	定員	種類	実施場所
第3回	H25 2月	20日（水）	9:00～16:50	はいに関する知識（3） 人力作業に関する知識（5） 機械荷役に関する知識（3） 関係法令（1） 修了試験	100	学科	兵ト協 総合会館 （神戸市）
		21日（木）	9:00～17:50				

日程、開催地、定員等のほか、法で定められている講習科目の時間を満たした上で開始及び終了時間を繰り上げ又は繰り下げ等、変更する場合があります。



**!! 国道43号・阪神高速3号神戸線から
5号湾岸線へ迂回をお願いします。!!**

燃 料 価 格 情 報

軽油「元売別」購入価格表（平成24年11月末現在）

（単位：円／リットル）

元売名	区分	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
		平 均	平 均	平 均	平 均
新 日 本		99.62	102.23	111.94	111.65
出 光		100.23	103.70	105.63	
コ ス モ		99.63	102.40	107.48	112.00
昭 和 シ ェ ル		100.50			102.00
モ ー ビ ル		98.46			
エ ッ ソ		103.40	108.00		119.00
ゼ ネ ラ ル		98.00			
そ の 他		100.22	101.41	106.16	105.85
総 計		99.90	102.43	108.13	108.31
24 ／ 10	全国平均	100.69	調査なし	107.42	107.39
	近畿平均	99.57		108.56	104.68

兵ト協
調 べ

全ト協
調 べ

（消費税抜き）

軽油価格年間推移表（兵ト協調べ）

（単位：円／リットル）

集計月	区分	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
		平 均	平 均	平 均	平 均
平成23年12月		100.42	101.34	108.06	107.26
平成24年 1 月		100.61	101.83	109.32	108.53
平成24年 2 月		100.18	103.39	110.08	110.32
平成24年 3 月		103.11	103.91	110.52	110.72
平成24年 4 月		111.12	112.22	119.45	117.59
平成24年 5 月		109.40	113.49	120.24	117.83
平成24年 6 月		104.07	108.91	116.37	112.34
平成24年 7 月		98.02	102.11	110.08	108.79
平成24年 8 月		94.92	98.58	105.67	102.51
平成24年 9 月		99.03	101.12	106.52	105.19
平成24年10月		101.70	103.83	111.74	111.96
平成24年11月		99.98	103.41	109.26	109.95
平成24年12月		99.90	102.43	108.13	108.31
年 間 平 均		101.73	104.35	111.19	110.10

※前月分の価格データを集計しています。

（消費税抜き）

“軽油は兵庫県下で買いましょう”

平成24年 全ト協十大ニュース

1. 中型免許制度の見直し求め、国家公安委員長に「普通免許の要件緩和」を強く要望
1. 内閣府の認定を受け、平成24年4月1日から「公益社団法人」として新たな体制でスタート、役職員の意識高揚を図るため全ト協バッヂを作成する一方、組織改革及び新人事制度を導入
1. 政府・国民に業界の窮状を訴えるため、全国2万人規模で「軽油価格高騰による経営危機突破全国統一行動」を決行
1. 事業用トラックの死亡事故増加で「下期事故防止緊急特別対策」を実施、ドライブレコーダの普及、WEB版ヒヤリハット集を公開
1. 持続的かつ収益力ある産業へ向けて、「原価意識向上のための基礎セミナー」「生産性向上セミナー」を全国各地で開催
1. 「東日本大震災」緊急輸送でトラック運送業界・全日本トラック協会が「防災功労者内閣総理大臣表彰」、「IRUGランプリ賞」をダブル受賞
1. 災害時の緊急輸送司令塔へ「全日本トラック総合会館（全日本トラック防災・研修センター）」着工、平成26年3月竣工へ
1. 制度導入10年目を迎え、全事業所の2割を超える1万8,119事業所がGマークに認定、Gマークの周知を期すためラッピングトラックが都内を走行
1. 新たに引越事業者を客観的に評価する「引越事業者優良認定制度」の平成26年度創設を見据え、引越管理者講習の受講者が急増
1. 最低車両台数・適正運賃収受ワーキンググループ報告書が国土交通省から公表

会 員 だ よ り

入 会 届

入会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名	主たる連絡先
24.10.17	東部	一般	(有)シンコウ運輸	宮川 信幸	〒652-0831 TEL 078-801-6637 神戸市兵庫区七宮町1丁目8番15号 FAX 078-764-6637
11.29	東神戸	一般	(株)兵庫高速運輸	杉本 平生	〒657-0854 TEL 078-801-2944 神戸市灘区摩耶埠頭1 FAX 078-801-2988
11.29	東神戸	一般 利用	(有)栄友ライン	川崎 裕貴	〒673-0403 TEL 0794-83-5710 三木市末広1丁目13番地13号 FAX 0794-83-5715
12.12	東部	一般	(有)村田運送	村田 誠	〒639-0266 TEL 0745-79-5583 奈良県香芝市旭ヶ丘3丁目5-20 FAX 0745-79-8738
12.12	西宮	霊柩	(株)C R	毛利 行秀	〒665-0021 TEL 0797-78-1811 宝塚市中洲1丁目3番28号 FAX 0797-78-1812

退 会 届

退会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名
24.12.7	東神戸	一般	(株) B & F 物 流	山 下 眞 生
12.7	西神戸	一般	(株) ヒ ヨ ウ コ ウ	杉 本 平 生

変 更 届

届出年月日	会員名簿 ページ数	変更事項	旧	新
24.11.27	61	代表者	(株)大 神 浅 田 茂 子	浅 田 茂 樹
11.29	6	住 所	栗 山 運 輸(株) 伊丹市西野1丁目213	〒651-2304 神戸市西区神出町小束野9-86
12.4	194	代表者	(株)但 馬 環 境 伊 藤 和 彦	伊 藤 佳 緒 里
12.5	177	代表者	(株)ハ マ ダ 丸 尾 昭 宏	帽 田 泰 輔
12.7	14	代表者	ハ ー ト ラ ンス(株) 大 野 秀 穂	大 野 健 治
12.11	174	住 所	(株)ツボタクリーン 赤穂市高野406	〒678-0176 赤穂市南野中434

協会日誌

月日	行事名	場 所	月日	行事名	場 所
12・1	年末の交通事故防止運動	兵庫県内	1・23	兵庫県トラック総合会館の竣工式	兵 ト 協
	年末・年始労働災害防止強調運動	各 分 会		兵ト協 西播支部 新年賀詞交歓会	ホ テ ル 日 航 姫 路
3	ダンプ部会情報交換会	神戸市立六甲道 勤労市民センター5階5会議室		兵ト協 東神戸支部 新年賀詞交歓会	ホ テ ル モンテ 神戸
	第43回兵庫県過積載防止対策連絡会議	兵庫陸運部	25	兵ト協 東播支部 新年賀詞交歓会	中国 飯店
4	第5回災害に強い物流システム構築協議会	大 阪 国 際 大 会 議 場		兵ト協 西神戸支部 支部新年会	神 戸 飯 店
	南海トラフ地震に対応した支援物資に関する協議会	大 阪 国 際 大 会 議 場		尼崎運輸事業協同組合 新年懇親会	ホ テ ル ニュ ー アル カ イ ッ ク
5	三木会	兵庫陸運部		兵ト協 西宮支部 新年賀詞交歓会	やっこ旅館
6	全ト協 常任理事会	東京ステーション ホ テ ル	26	全国物流青年経営者中央研修会・九州ブロック大会	ホ テ ル ニ ュ ー 長 崎
	グリーン経営講習会	難波御堂筋ホール HALL8F-A		兵ト協 兵庫支部 新年賀詞交歓会	神 仙 閣
	全国トラック協会会長会議	東京ステーション ホ テ ル	27	兵ト協 但馬支部 新年賀詞交歓会	西村屋ホテ ル 庭
	全国適正化事業実施機関本部長会議	東京ステーション ホ テ ル	29	平成24年度「運輸安全マネジメントシンポジウム」	「クレオ大阪東」 大阪府社会福祉センター・会議室
7	全国物流青年経営者中央研修会幹事会議	東京都トラック 総 合 会 館		－ 2 月の予定 －	
	人権啓発研修会	兵庫陸運部	2・1	物流講演会	大阪府労働セン ター (エル・おおさか)
	全国物流青年経営者中央研修会・東日本大会	東京都トラック 総 合 会 館		原価意識向上セミナー	兵 ト 協
	重量・鉄鋼部会「研修会」	ホテル北野プラ ザ「六甲荘」		大阪・京都・兵庫取扱部会合同正副部会長会議	ホ テ ル グ ラ ン ヴィ ア 京 都 5 F
	自動車関係団体連絡会議	神戸市内	4	全ト協交通対策委員会	全 ト 協
10	近畿地区物流政策懇談会	大 阪 新 急 ホ テ ル	5	適正化事業実施機関評議委員会	兵 ト 協
12	兵ト協 正副部会長会議	兵 ト 協	6	第2回運行管理者事前講習	兵 ト 協
	兵青協「第3回評議員会」	神 戸 市 勤 労 会 館		全ト協環境対策委員会	全 ト 協
	兵ト協 常任理事・支部長合同会議	兵 ト 協	8	NASVA第2回安全マネジメント支援ツール講習会	兵 庫 県 自 動 車 会 館
14	全ト協タンク部会正副部会長会議	全 ト 協		兵青協「経営研修会」	ひょうご産 業 活 性 化 セ ン タ ー
17	引越部会正副部会長・監事会議	六甲道勤労市 民 セ ン タ ー 5F		陸災防近畿ブロック支部長・事務局長会議	大 阪 市 内
21	適正化事業指導員・支部指導員合同研修会	兵 ト 協	13	平成24年度関西広域応援訓練(図上)	神 戸 総 合 運 動 公 園 体 育 館
	－ 1 月の予定 －		14	整備管理者選任後研修	姫 路 市 勤 労 市 民 会 館
1・8	平成25年新春名刺交換会	神 戸 市 勤 労 会 館		全ト協 常任理事会	第 一 ホ テ ル 京 東
12	兵ト協 明石支部 新年会	ホ テ ル キャッスルプラ ザ	15	NASVA第2回安全マネジメント講習会(基礎編)	兵 庫 県 自 動 車 会 館
15	全国専務理事業務連絡会議	全 ト 協	18	整備管理者選任後研修	兵 庫 県 農 業 会 館
16	整備管理者選任後研修	姫 路 市 勤 労 市 民 会 館	19	「トラック運送事業者生産性向上セミナー」	兵 ト 協
	KTS「正副部会長会議」	京 都 市 「 榎 榎 膳 」	20	はい作業主任者技能講習(1日目)	兵 ト 協 研 修 セ ン タ ー
17	「災害対策シンポジウム～東南海・南海地震に備えて～」	大 阪 歴 史 博 物 館	21	はい作業主任者技能講習(2日目)	兵 ト 協 研 修 セ ン タ ー
	整備管理者選任後研修	兵 庫 県 農 業 会 館		全国物流青年経営者中央研修会幹事会議	全 ト 協
	東部支部 新年賀詞交歓会	ホ ッ プ イ ン グ ア ミ ニ ン グ		三木会	兵 ト 協
18	全国物流青年経営者中央研修会幹事会議	全 ト 協		平成24年度全国物流青年経営者中央研修会代表者研修会	全 ト 協
19	兵ト協 天狼会 例会	東 天 紅	22	第22回全国物流青年経営者中央研修会	京 王 プ ラ ザ ホ テ ル
21	近ト協 幹事会	大 ト 協		近ト協 理事会	京 都 市 内
22	取扱・食品部会「新春荷主懇談会・研修会」	ホ テ ル オークラ神戸			